



1210あかりんアワー 教員が研究の楽しさを語る 第65回(5/13) 横田明美先生推薦 ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

プレップ行政法 (第2版)

著者:高木 光 出版社:弘文堂

コメント:行政法を初めて学ぶ前(pre)に見取り図を示す本。

『『中学校そばに喫茶店をつくりたい!』という経営者と『生徒に悪影響!』と反対するPTAの板挟みになったら、行政は食品衛生法の許可を出すべきか?』などと、身近な例から行政法の広がりを感じることができる。



Book2

原発訴訟

著者:海渡雄一 出版社:岩波書店

コメント:30年間原発を止めるために戦ってきた弁護士による本。

岩波新書という一般向けカテゴリーにありながら、福島第一原発事故後の状況も踏まえた問題点を指摘し、詳細なデータもついている。各判決がもたらした特徴的判示に触れつつ、「司法の失敗」を明らかにしようとする。



Book3

障害者の介護保障訴訟とは何か!: 支援を得て当たり前前に生きるために

著者:藤岡毅ほか 出版社:現代書館

コメント:障害者の介護保障訴訟を手がける弁護士による本。

障害者を巡る法制度の変化や、訴訟の経緯を詳しく解説している。

「好きな時間に水を飲む」「おむつをはかずにトイレに行く」そんな当たり前の暮らしを支える支援がなされないとき、どうするのか。

行政訴訟が具体的な人々にどのような苦難と変化をもたらすのかがよくわかる一冊。



Book4

自治体訴訟事件事例ハンドブック

編者:特別区人事・厚生事務組合法務部 出版社:第一法規

コメント:自治体職員がどのような場面で行政訴訟に携わるのか?

東京都の23区(特別区)で実際の訴訟担当者が、区が原告・被告になった訴訟(行政事件訴訟だけでなく、民事訴訟や住民訴訟も含む)について、事件の内容や裁判所の判断などをコンパクトに紹介した訴訟事例集。

行政側の実際の悩みが透けて見える点が興味深い。

